

舊

記

田冊
一

菊

148

富山大学

菊池文書

541

定納口米事

一 高免を要するに二三匁の定納口米

一 高免を要するに定納口米

一 高免を要するに二三匁の定納口米

一 高免を要するに十四匁の定納口米

成

口米の事

一定納口米に二三匁の定納口米

定納口米の事

一定納口米に二三匁の定納口米

口米の事

一定納口米に二三匁の定納口米

一 高免を要するに二三匁の定納口米

一 高免を要するに二三匁の定納口米

計り立欠米正米仕分

一欠米ヲ俵成米ニテ割いたる名ニ何種と名付
三十九

性米寄持算用

一先御藏國中種。破外場と同数或拾中
二拾あるニ六掛テ万數。七事百三拾ある
十九

或ハ出取米。出取名仕付の如く右名數
ある百三拾あるヲ右名數ニ掛テ或六令
九。十九是ヲ五里ノ万數或ある六拾万。
テ割ハ。即チ俄人量。ナリ是ヲ右名數ニテ
割ハ。右人足七步二厘六味四拾トナル

船運賃米事

一ある。毎運賃或百石。申定。ハ右名數
ある。又運賃米。即チ。右。三〇。五。テ割ハ。
大坂。運賃。八。百。或拾九石。ハ。右。五。令。タ。ト。ナ
吏。或。令。五。ノ。正。ラ。掛。ハ。運賃。米。全。ナ。リ。右
七拾石。ト。ナ。テ。或。市。田。合。ハ。タ。ハ。ヤ。ト。知。ナ。リ

舩廻上尾俵御定事

一右名。五斗也

一右名。五斗也

一右名。五斗也

一右名。五斗也

一右名。五斗也

一右名。五斗也

右所定。通。お。心。付。事

一右所。外。立。吉。久。御。蔵。江。川。ノ。米。五。斗。以。上
用。換。先。年。ハ。八。斗。ト。ナ

一。新。波。那。而。御。蔵。而。破。外。場。ト
道。程。石。數。附。事

領、市、權、通、直、業、在、所、業、立、代、割、
切、直、業、立、代、割、

二月十五日

普代

左馬

山、持、今、村、形、田、許、出、た、元、而、

宝曆二年也

去年、即、代、友、割、割、年、諸、那、村、去、二、代、引、元、
近、手、引、元、而、割、割、年、通、組、千、村、
南、手、引、元、而、割、割、年、通、組、千、村、

四月五日

御、算、用、場、

諸、那、代、友、中、

宝曆二年也

去年、即、代、友、割、割、年、諸、那、村、去、二、代、引、元、
村、南、手、引、元、而、割、割、年、通、組、千、村、
立、手、引、元、而、割、割、年、通、組、千、村、
去年、一、代、引、元、上、手、引、元、十、村、元、而、割、割、
下、手、引、元、上、手、引、元、十、村、元、而、割、割、
去年、即、代、友、割、割、年、諸、那、村、去、二、代、引、元、
南、手、引、元、而、割、割、年、通、組、千、村、
立、手、引、元、而、割、割、年、通、組、千、村、
一、代、引、元、上、手、引、元、十、村、元、而、割、割、

三月九日

和、那、村、

左、馬、

御、持、持、人、中、元、而、

收納、系、代、友、割、割、年、諸、那、村、去、二、代、引、元、
持、次、引、元、而、割、割、年、通、組、千、村、
立、手、引、元、而、割、割、年、通、組、千、村、
立、手、引、元、而、割、割、年、通、組、千、村、
立、手、引、元、而、割、割、年、通、組、千、村、
立、手、引、元、而、割、割、年、通、組、千、村、
立、手、引、元、而、割、割、年、通、組、千、村、
立、手、引、元、而、割、割、年、通、組、千、村、
立、手、引、元、而、割、割、年、通、組、千、村、
立、手、引、元、而、割、割、年、通、組、千、村、

次、手、引、元、

但、持、代、友、割、割、年、諸、那、村、去、二、代、引、元、
持、次、引、元、而、割、割、年、通、組、千、村、

辰、四、月、

御、持、持、人、中、元、而、

。

諸郡 十村中
日 什支年
明和九年壬午

一 源氏嶺 道林寺村松永村長村領
但今右勘込道程三里拾丁程

一 砥波郡 松尾村持山
但今右勘込道程三里程

一 卯ノ花山 砥波山源氏嶺續
山平道林寺村領
但今右勘込道程同程

一 茅栗本林 石坂村松永村蓮沼村
但今右勘込道程同程

一 妻井塚 蓮沼村持山・月塚
巴山吹塚
但今右勘込道程三十丁程

一 日宮林 蓮沼村領
但今右勘込道程三里程

一 砥波園 蓮沼村松永村領
但今右勘込道程三十丁程

一 蓮沼村古城跡 南北三谷間西東或按官
由佐勘込乃在城
但今右勘込道程三十丁程

一 常寺古城跡 南高常寺山北平八佐村
但今右勘込道程里里程

一 膳川 源氏嶺續南谷流出
松尾村・源氏川・高谷

一 膳川 苗加先祖山寺村谷
流出續子村・小矢部川・高谷

一 小矢部川 刀利村持山・山・流出

一 膳川 磨原飯村祖谷村小矢部川
山寺村持山・流出・高谷村・
小矢部川・高谷

一 折尾川

白中村横瀬戸村持山
流出七川七村合流
合

一 大井川

吉田郷山より流出
上川傍村より大井川合

一 藤川

井口郷流出谷川里村
并清志村連代寺村合
六板村大領村合車村川
村持山太谷川馬取川沖川
合流藤川合流川ト合
中口村より小矢部川合

一 山田川

山田郷山より流出上川傍村
小矢部川合

一 堀市川

地仙村領堀市川形有之
村水都右津村羽廣村
通

一 祖文川

矢木村宮村堀市村高井村
子代村堀市村堀市川ト合

一 新又川

用水源水川成村水都
子川村より小矢部川合
庄川年々天前より第有
高田傍村より小矢部
川合

一 庄川

飛州山より流出市田
成出村楮村より水都六渡
寺より海に合

一 千保川

千保村領より庄川合
千保所より小矢部川合
海入

一 砂川

吉田村道徳野村合
後子村より小矢部川合

一 子持川

沢川村持山より流出
五位所より谷山より谷川
後谷田川村領より小矢部川
合

一 切田川

庄川年々天前より上持村
領切田川形有之市田村

此山小矢郷川に落合

一園川

但地碓村に上りて北郷川と唱ふは碓村に上りて
黒石川と唱ふ

一又川

西社村木母村落合
三市村甲子村落合中村
川に落合

一山王川

若林用水より西中郷村に
取入招布新所より
山王川と唱ふは山王郷
村に上り新又川に落合

一務腰山

南平小濃村持山東平
小濃村漆谷村入合西中
山田郷村入合山小濃村
道有

但今名動は道程八里程

一葉長松

細修村に有風を求本
折る

但今名動は九里程

一金剛堂山

此山東平婦員郡西平
百濃川村に

但今名動は十一里程

一鍬崎山

此山東平八婦員郡西平
九里當米里山七村鎮也

但今名動は七里程

一白六ヶ山

東平八又村又川七村
廣谷村香城寺村持山
西平八加州山

一鰐王山

北山山也山に上りて山

但今名動は五里程

二俣山東平八天神村小坂村
廣谷村持山村竹内里村
小山村持山ナリ

一大門山

西平八加州東南山平山
村桂村刀利村持山ナリ

但今名動は九里程

一乃利金山

此山先年及出入合
加州山初ハ乃利山ナリ

但今名動は八里程

みヶ山田向村持山至

飛州山

吉江郷廣瀬郷山向郷

山ヨリ出ル

一緒留石

但今石動方六里程

善谷村持山至

一繩池

但今石動方七里程

林道村持山ヨリ

一泉谷

但今石動方六里程

井口郷山内赤井谷

一木谷石

庄川中嶋庄金剛寺村鎮
東西拾間南北

一辨才天

枯竹柳椿木茂リ居ヤル惣
川ノ中程成ルル洪水ニテモ
古來ヨリ水災ナヤル

一為景塚

頼成新村鎮上杉為景
此所ニテ討死十光寺過去帳
記有之

一大牧村温泉

今大牧村拾二里川上
赤川系源流中ニ多ク川中
成ナル故湯サヤ市至湯父
山ニ小谷ヲ至居ヤル

一立岩

同不杉尾村持山至
根根也了了又又

一系山

西膳寺村川合田村定宿寺
村杉木村持山至

一八女山新塚

蓮代寺村持山至

一風穴

同不杉尾村持山至
三深サ三丈尺程入多岩組
合處見ル中程中程中程
中程中程中程中程中程

一稻葉山

田川村持山

一三國碑

嘉例谷村持山西至加州
神谷村持州河合村持山

一龍宮洞

森谷村於玉接川之内
持渡之石同往之石半岩
ノ洞洞ニ成リ持ヤル

一弓之清水

常國村領本曾義仲
弓ニ堰ル清水ニ流ヤ
傳ル

一境川

白山下ノ出ルテ龍州城中
境ヲ出テ山ノ内ニ西赤
尾所村ニテ在川上落合

一利智川

云々山水無村ノ流出
九里ノ高村ニ店川落合

一白瀬川

云々山上白瀬川村持山
流出ノ白瀬川村持山
郡ノ出神通川ニ落合

一城端古城

荒木大膳

一井波古城

赤野小藩家如上人
取立城一向宗門

一云々山下梨村古城

孫井九郎左衛門先祖
野為百姓

一本舟古城

前田右近將監殿
今程作所

一増山古城

佐内藏助家人

一廣波郡持山

又歩通沼田
四歩通沼田
左歩通沼田

一五五

三石齋

越中

高ニテ名ニ升ルニ名ニ歩ル百四拾年

一五反

三百步

石塘
川州
河

高ノを石の井但志石と歩或る所

一五五

三百步

能更則

高シテ名七計但名七歩百七拾六歩重

定書

一村にても所収細事足切なるを有るの時、一村
をケ村肝要精誠詮傳に上十村書出さる
十村方より右切なる人より年貢不足し而
も之を入致詮傳、亦然、垣根木竹束との受
拂切より負致の致減せらるる村、内々隠分
致割存り、之を付せしむる百姓、百姓割
存り、不慮事

附錄 穆成詮像之上十村人名稱
像自他德之界限刻舟之渡者致
遠背之致縮他德之者刻舟之渡
而自他德之者刻舟之渡者

一、道年小化言、以升凡俗惡業、能成多數仕
主、佛所收納、名是等因、名之曰、如夏家、飛子
迴、宜其成、能言、名之曰、是者、其、能、分、極
致、市、而、以、後、外、見、習、也、能、成、名、有、家
年、有、名、是、引、取、名、仕、名、幾、年、名、有、給
弟、取、名、和、孫、下、名、口、是、外、稼、名、仕、能、名、之、
以、是、又、在、年、有、年、名、入、立、市、事、

附小使入名堂有之地至今十村に及ぶなり急交
致詮候早速今名堂よりお取寄するに急交
百姓小使入名堂有之時其村より十村に及
お寄するに同様致詮候急交お取寄之
中若小使入名堂よりお取寄の中急交致お取
より一門兼渡人未だ中渡早速お取寄する

一宿乃果町立石道在。讀他仕者。稼と名物ヲ
以て爲る。中讀他仕者。在府外讀他仕者。地宜

年方未及二十、被其兄之致延恩、生於家
在神、及外中化多也、及於、其後人
多及延恩、致一、勿論生而彼人、為之
皮、味、仕事、

右定事、通邑、後、不社、松、松、
下、知、此、後、清、書、付、所、
十、以上、

寶曆十三年 申寅

中持持人
十村

切、元、福、六、年、十、月、十、日、所、領、中
一、統、百、姓、中、切、と、中、後、仕、作、後、事、

賞

一向、後、中、百、姓、一、或、一、或、付、中、退、放、又、斬、業
仕、作、付、者、家、賦、者、道、具、也、以、事、場、法、式、
通、十、步、一、

一、中、百、姓、所、付、中、所、團、所、退、放、或、中、所、退、放
仕、作、付、者、家、賦、者、道、具、也、以、事、場、法、式、
或、一、通、一、付、者、也、

一、中、百、姓、并、中、百、姓、改、他、方、家、退、出、仕、
作、付、者、中、所、道、具、取、上、外、道、具、一、或、採
一、中、百、姓、中、百、姓、一、或、上、百、姓、中、百、姓、
上、百、姓、一、或、仕、業、中、百、姓、中、百、姓、
一、上、百、姓、中、百、姓、一、或、仕、業、中、百、姓、中、百、姓、
一、百、姓、中、百、姓、一、或、仕、業、中、百、姓、中、百、姓、
一、百、姓、中、百、姓、一、或、仕、業、中、百、姓、中、百、姓、

右、一、統、元、福、六、年、十、月、十、日、事、場、法、式、
十、村、中、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、
一、統、元、福、六、年、十、月、十、日、事、場、法、式、

百姓既振闕而仕者仕分之意

一、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、
一、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、
一、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、

一、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、
一、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、
一、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、

一、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、
一、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、
一、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、

右、一、統、元、福、六、年、十、月、十、日、事、場、法、式、
十、三年、中、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、
十、三年、中、百、姓、中、百、姓、中、百、姓、

火事家打銀事。

一、火事家打銀事。火事家打銀事。火事家打銀事。

一、火事家打銀事。火事家打銀事。火事家打銀事。

一、火事家打銀事。火事家打銀事。火事家打銀事。

元禄七年四月廿五日

覚

一、火事家打銀事。火事家打銀事。火事家打銀事。

右大御所覚書

一、火事家打銀事。火事家打銀事。火事家打銀事。

一、火事家打銀事。火事家打銀事。火事家打銀事。

一、火事家打銀事。火事家打銀事。火事家打銀事。

火事家打銀事

中德元年二月七日

合伏お傍不

吉子保元

一、火事家打銀事。火事家打銀事。火事家打銀事。

一、火事家打銀事。火事家打銀事。火事家打銀事。

一、火事家打銀事。火事家打銀事。火事家打銀事。

一、火事家打銀事。火事家打銀事。火事家打銀事。

一、火事家打銀事。火事家打銀事。火事家打銀事。

一、火事家打銀事。火事家打銀事。火事家打銀事。

一、火事家打銀事。火事家打銀事。火事家打銀事。

東山に在る、山崎村の地中、節言、今、
一、鏡生垣の取拂、向後、何、何、成、怪、来、致、竹、垣、周、
見、通、り、地、中、付、少、力、一、心、得、遠、何、角、中、者、有、之、
加、り、不、可、多、取、地、中、取、揚、下、り、句、論、地、中、
年、有、地、中、者、出、お、降、中、者、り、早、速、言、出、不、可、
取、揚、下、り、今、取、今、者、動、地、中、者、野、金、
助、有、地、中、者、村、百、姓、と、及、年、論、り、処、事、是、如、此、
改、化、所、法、皆、不、屈、仕、合、有、以、事、場、言、
批、者、在、方、お、對、即、在、其、禁、年、の、致、陰、也、
地、中、一、鏡、右、と、通、お、り、言、上、

西暦元年八月十日 佐藤仲左衛門 堀孫左衛門
山本武左衛門 高田恒吉
根来九郎 中村四郎
今村源次 土橋源次

村中、新設、と、村、中、接、持、人、十、村、中、

新川郡の観中、田、事

中山村、田、事、萬、二、年、以、前、石、名、切、言、仕、殘、言、
六、斗、有、法、坐、而、言、計、言、有、一、斗、計、不、足、仕、
二、斗、去、年、と、拾、九、年、と、一、斗、計、不、足、言、
米、在、而、田、地、り、と、並、と、通、元、利、切、言、九、人、切、言、
之、世、弟、と、田、事、言、中、二、月、言、石、名、切、言、十、金、
差、助、中、渡、り、八、渡、古、米、と、一、斗、計、不、足、仕、
田、地、古、田、と、言、法、取、下、り、十、斗、計、諸、郡、も、是、米、
と、可、在、田、事、と、田、井、村、次、弟、古、中、村、村、在、
は、十、金、中、米、計、り、八、斗、計、と、一、斗、計、不、足、言、
之、事、と、言、古、米、と、一、斗、計、不、足、言、
今、如、古、米、取、返、と、一、斗、計、不、足、言、
は、年、と、拾、引、仕、米、計、仕、中、
右、と、通、言、法、取、下、り、十、斗、計、諸、郡、も、是、米、
有、同、と、中、村、上、

享保元年三月廿日 三日市村 差助

山崎村、田、事、

中山村、田、事、萬、二、年、以、前、石、名、切、言、仕、殘、言、
六、斗、有、法、坐、而、言、計、言、有、一、斗、計、不、足、仕、
二、斗、去、年、と、拾、九、年、と、一、斗、計、不、足、言、
米、在、而、田、地、り、と、並、と、通、元、利、切、言、九、人、切、言、
之、世、弟、と、田、事、言、中、二、月、言、石、名、切、言、十、金、
差、助、中、渡、り、八、渡、古、米、と、一、斗、計、不、足、仕、
田、地、古、田、と、言、法、取、下、り、十、斗、計、諸、郡、も、是、米、
と、可、在、田、事、と、田、井、村、次、弟、古、中、村、村、在、
は、十、金、中、米、計、り、八、斗、計、と、一、斗、計、不、足、言、
之、事、と、言、古、米、と、一、斗、計、不、足、言、
今、如、古、米、取、返、と、一、斗、計、不、足、言、
は、年、と、拾、引、仕、米、計、仕、中、
右、と、通、言、法、取、下、り、十、斗、計、諸、郡、も、是、米、
有、同、と、中、村、上、

一 部 別

新大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

但此校より分充るは其を分りて出さるは中居
分給作出の月あり

一 部 別

同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

日新細を流役但此校より出さるは
も同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

一 部 別

同大目細を流役

右退轉、數日昇格、乃退輕快、後乃中集。
右高松出本退轉、情面清亮、自切事近
方、乃集用、協以上事、中人。

一山田川城、格清、福光川、後今迄、雖能仕切、
中事、中人、但、殊、後人、與、次、屬。

一山田川、雖仕切、中村、中人、中人、雖、後、田川、
村、中人、中人。

一福光川、雖仕切、而、田村、中人、中人、中人、中人、
山田川、中人、中人。

一中田川、中人、保川、雖、後、中村、中人、中人、中人、
中人、中人、中人、中人。

右、中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、
中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人。

上人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、
中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人。

中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、
中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人。

中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、
中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人。

中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、
中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人。

中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、
中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人。

中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、
中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人。

中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、
中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人。

中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、
中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人。

中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、
中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人。

中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、
中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人。

中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、
中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人、中人。

城端

一四間、新拾間
但三圓

円七圓

七圓

出石三石五斗、定能合年、但
借部仕、乃、所、以、納、金、六、石、程

因所

一四間、九間

但三、法、但、定、能、合、年、所、以、納、金、六、石、程
仕、所、以、納、金、六、石、程

但三圓

出石三石五斗、定能合年、但

福光

一三間、六間

但三圓

出石三石五斗、定能合年、但

因所

一四間、拾二間、三圓

苗加、但、大、西、但、定、能、合、年、所、以、納、金、六、石、程
仕、所、以、納、金、六、石、程

因所

一三間、拾二間、三圓

所、以、納、金、六、石、程、但、定、能、合、年、所、以、納、金、六、石、程
中、乃、石、性、自、分、計、り、也

福野

一四間、拾六間

但三圓、式、子、或、百、五、拾、石、程

野崎

一四間、新拾五石

但三圓

出石三石五斗、定能合年、但

出石三石五斗、定能合年、但

津澤

一四間、新拾間

但三圓

出石三石五斗、定能合年、但

因所

一三石、拾間

但三圓

出石三石五斗、定能合年、但

戸出

一四間、新拾間

但三圓

出石三石五斗、定能合年、但

因所

一四間、新拾間

但三圓

出石三石五斗、定能合年、但

円七圓

出石三石五斗、定能合年、但

世間如捨間
但世間

三子名

中
回

一四 閏拾月

同所

但此固

玄園

中國歷史今昔

去國

七百五拾名程

之予百四拾名

立野

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

但去國

七百五十五

福忌

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

卷三

竹一園

大猷祖定化育積

一
四

肉體相同

一冊

士百五拾名程

西園松間

但此圖

子而石經

三日市

一三回 拾回

但部圖

子石經

同雨

一
四
二
部
拾
部
同

井波

但四圍

右之外新

右砥波郡所屬田積八千石
在管書五十七石

延享元年四月廿百

御校持人

今石勳

木村 聖名

御牙記

此全卷
正同拾間

一國

增山

當年大板河四年後移而能西下後照
金價上昂通商市人代官公搭出兩定
展懷云云亦斗出船費行相後言云出
月減之善用亦前通出船費行之既
即希古渡之市格步之乃亦斗中筆之
其常而之也目減之候諸代官亦受其益
傷者乃有代代亦代代更委理財志為
形似米市廻之市廣捕之京都市而出
船之振令之心乃十村代官亦一市後山
尤出船費行之是應于後重口日

右一通市常用場之紙面亦於局案下
之卷內以上

中國書

千四百八

御用香

市村政孝

天明六年之事

李西亭

諸郡
代官中

今右勘所花山、谷切子、御算用場、振札、切子、百姓、後り、お成り、爲座、只、錢、法郎、十、度、有
り、右、改、修、所、を、正、合、出、産、の、所、と、右、切子、を、
只、錢、五、十、兩、と、是、以後、百姓、中、試、算、後、り、右
町、産、切子、法郎、十、兩、爲、座、天、明、六、年、四、月、右、本、村
吹、立、乃、願、寺、西、多、美、村、々、改、修、後、り、今、右、勘、所、花
山、入、角、より、御、算、用、場、振、札、切子、を、正、合、出、産、の、所、
改、修、不、可、右、所、振、札、切子、を、振、札、物、出、産、の、所、と、
中、上、已、事、法郎、十、兩、爲、座、

天明四年壬午今勤義宿々夫合市債米出
中而令石動日用人其村々吏合米配出付賃
錢清取中々中々以好大百姓所々人足雇
市中々中入紅包平儀花言々仕配出賃
米也々中々主振出見町言射中郡山債米後
産民錢讀表申振々力盡百々浜波郡々振合
由改化而合申爲者々々百姓渡り庭口錢並
中候々々々招米新町和後而々調子中扣
金屋本江一巻袋入扣成居上

一新文曰舊橋畧林曰共用水舊橋地方引渡
育而郡屬之時新開言料亦与相勤入用指
出而中近年右開水地方舊橋諸舍及右
開言入用者多予予古者村人中人入用言

而持者亦不知難仕紙相對の村拾目を
俵の所郡の村役中打銀と稱するに其用水
切の事なるが新開言にもおきて不儀古
田用水新開おかり一集取事の儀に於て
ハ亦と通ず此水入る事

一 新又口用水入用大門口村火事字云其拾目を
三拾人共共拾出と申す及於所郡統用
水打銀と者此の用水も案内銀故火事家
為拾除中取ら自分の用水入用火事字云
不拾除筋と云ふる等おかり村拾目三拾人
取取立下事

右是書の中渡り此取可中渡り以上

寅二月 明和七年之事 金沢 相談所

新又口舊橋口善林

右井口

井町炎 中 村町炎

善林口用水の中野村小松村新開言も
三拾人取取立下事江村におかり村役より
新開言も三拾人取取立下事三拾人取取
除言右名取拾目三拾人取取立下事
村事取取立下事

一日諸村集會時村小松村田尻村の儀に言
三拾人取取立下事右村におかり村役
不元立中渡り外村におかり村役
三拾人取取立下事村外用水口江村におかり
村役の儀に言先言件同詮儀以上
三拾人取取立下事村中渡り右村におかり
村役の儀に言先言件同詮儀以上
中渡り以上

明和七年十二月 金沢 相談所

善林井町炎 中 村町炎

一六五

立野所長名爲
東進免男七步

東進免男七歩

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

○院叢林之信譽必致
束進危而不步

東進危ちつ六歩

一、衣、食、住、行、器、用、之、類、

第野村ニ光寺あり
東進免つる歩

東進免ちる歩

一拾主名錄斗七布

井波村 瑞泉寺 井左
龍谷庵 安永寺 寺々
免方 寺々

免之

三拾石

上を三歩

地生村去八幡宮社
北へ五歩

卷之五

一
拾石

上多五十四

安土村より安土町に至る
道の長さを七歩

高麗の七歩

此言凶化之年也立言而德為教而社而教
上隣村平均之方也

后

堤川除

數拾七間
高七間
頭戴七間

頭戴

頭戴

敷舍塢上厝敷舍長松七間

上
口
拾
間

下口鄭同

高
七
間

古拾同下口為間長六尺一重泊三

長六尺一寸

長七間平均

數拾七回

高七間

坪ノ四百六拾五坪五合

心
思
上
下

小矣故猶分田焉七拾畝此免相若八年壬午使
常月十有二月洪水至今石動窟園暨此見田
畝故河上居田除是年及田八畝三畝林五畝
乃乃作田五畝不田際石八拾畝并小矣郭川砂川

拾同并

庚子年八月十五日
江州府志卷之四
江州府志卷之四
江州府志卷之四

天明二年八月

今在勤

右江州府志卷之四
江州府志卷之四
江州府志卷之四

西肝系后田屋
口 森田屋

小矢部信分
江州府志卷之四
江州府志卷之四

外八月十八日

奥野全馬

改修所

今在勤
江州府志卷之四
江州府志卷之四

八月十八日

奥野全馬

小矢部信分
江州府志卷之四
江州府志卷之四

希之振合古皇在汝仰慶三山生石毫石能之
事八海及能而公常慶中那比接指人之內
張紳引免皇仕指中右若之振合小紙
五管上以上

卯
八
月

田中村

用
三
書

戶出村

又奪り

金瓶梅

今

内政

陳年石

[illegible]

苗字愛地なる之の右に振合とあり紙に
 委細書鮮帝の御歌にありと云々委細の
 上右に地支配の由因此の所より出で居
 る所を云々いふなり其神中候に類はる
 九月朔日
 角五郎

九月朔

角之

又平金

金華寺

朱代

むねたふし

時分見多、後小紙就、重厚、
 与中不令名動、不見分、
 持持人見分、とお同、
 分、とて、
 未お改、
 編、
 成り上
 清代

以上

清代

九月

卷之六

角常所而常所柳人常所柳

此分田地在換賣地場而見分は株
出改取而今其田の旨が分りた
其分が田向は百石に及ぶと云
九月分

森田分
久安分 株 定 三 萬 石

此分田年并其拾石縄端而此持家
此分田の縄端人等取者成以分
分田連取中此分田竹木立立五石
う出取の上

天明三年

九月分田中人金田分は在場而此出縄端人
石板村田中人等取者成以分
今右節等用分田田中人等取者成以分
此分田中人等取者成以分
此分田中人等取者成以分

一七拾七石

免七石八斗

小矢部分

拾石石田中人等取者成以分
拾石石田中人等取者成以分
拾石石田中人等取者成以分

此拾石石田中人等取者成以分
此拾石石田中人等取者成以分
此拾石石田中人等取者成以分

拾石石田中人等取者成以分
拾石石田中人等取者成以分
拾石石田中人等取者成以分

右小矢部分田中人等取者成以分
右小矢部分田中人等取者成以分
右小矢部分田中人等取者成以分

天明三年九月

由取分

田中人等

森田分 株 定 三 萬 石

角三萬
金田分

一四万七拾七石

森田分 株 定 三 萬 石

田中人等

但言持分佐野村百姓分右地左地内
家数拾五軒

一 九拾五石八分 地子銀 西條新井村
但地左地并西條新井村佐野村百姓分

一 二百八拾石 地子銀 福島町
家数百貳拾五軒

但百姓分得修村四ノ村百姓分

一 九百拾石 地子銀 福光新町
家数九拾五軒

一 三百貳百貳拾石 地子銀 内修組

内 六百五拾石 立野村

四百七拾石 佐野村

百貳石 大庄中村

一 三百拾石 地子銀 津沢町

一 十村 内石田 旗方 禁事仕者組

内 石田 旗方 禁事仕者組
高分支配仕者 旗方 禁事仕者組
高分支配仕者 旗方 禁事仕者組

一 十村 遠近 十付 旗方 禁事仕者組
代友 旗方 禁事仕者組 通判 旗方 禁事仕者組

一 十村 遠近 十付 旗方 禁事仕者組
右 旗方 禁事仕者組 旗方 禁事仕者組
此 旗方 禁事仕者組 旗方 禁事仕者組

癸卯 十月廿六日

別所 旗方 禁事仕者組
中村 旗方 禁事仕者組
中村 旗方 禁事仕者組
山本 旗方 禁事仕者組
高橋 旗方 禁事仕者組
大橋 旗方 禁事仕者組

賀吉助進
稻垣傳次郎
菊田安南

癸卯

土

御筆用瑞

改作

在通山郡一統中御面出中府寫仕也
十以上
卷書平田代

Th
ab
p

張香田氏

古月本

考代

序

中乃无和

以敏嘉保八年十一月在

諸那御持持人十村役市ノ者以第返之中
付ノ帝持免也之御持持高取上ノ振所用

朱蘭園大炊師作價目表、上得全書

三十四

御筆用傷

所部有部

右通中東少東下乃之意也

酉
壬戌年

中國書

稻垣外記

新修村史考

直落村人十村。
山旦新田七村。

寛政元年壬午

上

免四

一或曰累步

御定集部

此乃系八斗是升或金四斗

門
或檢卷第六

高麗在舟六反引

以事系九步七

永定河

百貳拾年

畢比上中田

四斗

但走歩有_二合_一少

九拾八歩四厘

厩地_上田

此_レ走歩計_二合_一少

但走歩有_二合_一少

此_レ要_二合_一重_二三合_一少_二八才_一五毛

四才四歩四合_一少 御収納_上歩

九歩_上徑

春秋_上及_二張_一打_二銀_一是_二歩_一方_二合_一歩_二中_一歩_二年_一三_二合_一増_二減_一法_上

ア_上 二才_二合_一少

歩_上 或_二才_一七歩七合_一少 餘_上歩

神

一_二歩_一百_二合_一拾_二歩_一

免_上四_上 御定_上歩_上高_上

此_レ才_二七歩七合_一少

御_上拾_上歩_上高_上

此_レ才_二八歩六合_一少

但走歩有_二合_一少

百_上歩

厩地_上中_上田

此_レ才_二三才_一三歩

但走歩有_二合_一少

百_上拾_上八歩四厘 厩地_上中_上田

此_レ才_二三才_一三歩

但走歩有_二合_一少

才_二七才_一三歩_二合_一少

此_レ要_二合_一重_二九才_一六才_二八毛_一

四才四歩四合_一少 御収納_上歩

九歩_上

文_上張_上打_上銀_上是_二歩_一方_二合_一歩_二中_一歩_二年_一三_二合_一増_二減_一法_上

才_二七才_一三歩_二合_一少

下

一_二歩_一百_二合_一拾_二歩_一

免_上四_上 御定_上歩_上高_上

此_レ才_二三才_一三歩

内

北拾壹步六厘

高百石有六分

比上七步六分六厘

比上七步六分六厘

但七步六分三厘

拾步

比上中田

比上七步六分四厘

但七步六分三厘

百三拾八步四厘

比上中田

比上七步六分六厘

但七步六分三厘

比上七步六分六厘

平均合率或合率三才五毛

比上四步六分六厘

比上中田

九步

比上

比上中田

比上七步六分四厘

比上平均合率或合率九才九毫六厘

比上平均合率或合率九才九毫六厘

比上平均合率或合率九才九毫六厘

比上平均合率或合率九才九毫六厘

比上平均合率或合率九才九毫六厘

比上平均合率或合率九才九毫六厘

比上平均合率或合率九才九毫六厘

比上平均合率或合率九才九毫六厘

比上平均合率或合率九才九毫六厘

比上平均合率或合率九才九毫六厘

比上平均合率或合率九才九毫六厘

比上平均合率或合率九才九毫六厘

比上平均合率或合率九才九毫六厘

比上平均合率或合率九才九毫六厘

比上平均合率或合率九才九毫六厘

右通事司事始之志已未在職
以私事不干公望

寺西渡助

德黃石川河部

十村中

担任所方地

役人中

右安永九年、庄筋口、年福、事

一、經要均名并 免堂言石信明曆元年。

一、支那初 元和三年。

一、井口井 元和三年。

但石井八井、以外、新京井、八井、目定納、并、主井、
本合口井、中井、主合、主、井、六、合、定、主、年、成、育、
神筋、寬

一、十村、後、後、初 寬永元年。

一、三、五、十、村、初 安永九年。

但、年、保、次、在、方、及、神、郡、已、成、十、村、市、事、出、旅

一、口、井、初 同年。

一、神、知、初、智 同年。

一、二、德、隱、田 安永三年。

一、神、外、主、二、經、中、主、亮 明曆二年。

一、十、村、神、接、村、人、神、安 万治二年。

一、一、神、郡、步、根 同年。

一、京、門、大、神、政、神、行 寬文元年。

成、神、內、能、助、後、大、橋、又、主、廣、

一、一、神、郡、神、年、初、主、神、也 同三年。

一、但、合、以、村、初、淺 同年。

一、一、村、肝、神、書、神、書、同二年。

一、一、神、第、初、大、神、段 同三年。

一、一、十、村、金、民、諸、書 同四年。

一、一、本、神、丈、尺、極 同年。

一、一、能、食、花、市、制、机 同四年。

一、一、道、書、人 同年。

一 小松町 町内 町内家

同年。

一 里子 延保 延保毎

同年。

入用 延保 延保

一 往還道内 延保

同八年。

一 新京井 井丁 延保

同年。

一 村町 延保 延保

同年。

一 村町 延保 延保

同十年。

一 百姓村 延保 延保

同十一年。

一 八十 延保 延保

同年。

一 九十 延保 延保

同十三年。

一 村町 延保 延保

同四年。

一 京町 延保 延保

天和二年。

一 所 延保 延保

同年。

一 延保 延保

同年。

延保 延保

井上 延保

延保 延保

村上 延保

延保 延保

加屋 延保

一 如賀部 延保 延保

延保 延保

一 延保 延保

一 延保 延保

一 延保 延保

一 延保 延保

一 延保 延保

一 延保 延保

一 延保 延保

一 延保 延保

一 延保 延保

一 延保 延保

一 延保 延保

一 延保 延保

一 延保 延保

但知行系ハ有ル事

一七月朔日九月迄止死去人ハ廿収初并春秋
吏帳ニ有ル事

一十月朔日十一月迄止死去人ハ知初九初并春秋
吏帳ニ有ル事

右市給金分初并并吏帳有ル定

千保川第士ヶ川系指村ニ有ル

宮村町村ニ常井村北仙村小保村

ノ有村

堀内村油甲大塚村市村十年明村則事指村

中村

ノ有村合松村供川系境上宮村北仙村等

右士ヶ村川系指村ノ御役帳指上川本集草

入込三ヶ村中ノ若川系之門ノ其末有ル事ハ川

系指村ノ合松村仕事係士ヶ年ノ事ハ宮村等

死人通シテ其ノ事指上ノ事切ノ取捌ニ成

宮村市指村川系指合松村仕事

川系指合松村

ノ有村

市村十年明則事指ノ有村

一右士ヶ村川系指合松村仕事係士ヶ年ノ事ハ川

上細仕合松指合松人馬ニ應ニ刻有仕人モ人并

九分九分五厘馬ニ是ニ五分五厘五厘五厘

右ノ事ハ奇事モ有ル事ハ指合松上細指合松

ノ有

一拾部有之ヲ 鉾川役 一九分 鉾川役

川系指合松

ノ有村

ノ有村

一八拾分 野役帳

合分四八分

御等月場御等所等御政修治等

右ノ事ハ出ノ御御面十村邊

中書所 中書見 所總務 所技指人
十村 新里許

ノ村送り

出那所 中書見 所總務 所技指人
道橋所 中書見 外被損出那所 山也

ノ 寅八月 報知 田中 助右 作付

右ノ方々 中書指 今村 名付 中書見 中書見 中書見
見仕方 中書見 中書見 中書見 中書見 中書見
右ノ方々 延宝二年 六月 十六日 三ヶ玉 諸村
中書見 諸村 中書見 中書見 中書見 中書見
中書見 中書見 中書見 中書見 中書見 中書見

乃 昭重

一 中書見 中書見 中書見 中書見 中書見 中書見
中書見 中書見 中書見 中書見 中書見 中書見
中書見 中書見 中書見 中書見 中書見 中書見
中書見 中書見 中書見 中書見 中書見 中書見

寛文二年

大蔵村 中書見
湯地村 中書見
金谷村 中書見

中書見
中書見

所 收納 中書見 中書見 中書見 中書見 中書見
中書見 中書見 中書見 中書見 中書見 中書見
中書見 中書見 中書見 中書見 中書見 中書見
中書見 中書見 中書見 中書見 中書見 中書見

寛保二年 四月 廿一日

長右馬

中書見

中書見 中書見 中書見 中書見 中書見 中書見

今取 中書見 中書見 中書見 中書見 中書見

[illegible]

右之類二篇之意也

西平八月

吉田公常史

出岸河次以下

所波射水而所那

所持村人十村

新田里許也

天順六年之事

今取所管野木山所國之義所役人其細之
常近處所管九所十村舍新之領有之
今之領有之役所領有之通所役人
之來之之常所管全中領有之役所
之新之而重一鏡連名之役書之持出之

西平八月

吉田公常史

山岸河次以下

所波射水而所那

所持村人十村

山口新田里許也

定小物成根去年之諸代官中
今年之所那切之役領所持村人
所持村人十村之役領所持村人
所持村人十村之役領所持村人

元文四年

所代官割

諸那所持村人

所代官公所管所用所持村人
今之役領所持村人十村之役領
所持村人十村之役領所持村人

末三月十八日

所代官割

所代官中

所代官中名所管所用所持村人
所代官中名所管所用所持村人
所代官中名所管所用所持村人
所代官中名所管所用所持村人

二月

天正寺村
十次所

所代官中

右之通天正寺村所代官中
所代官中名所管所用所持村人
所代官中名所管所用所持村人

右之類二篇を意の事

酉年八月

吉田八郎兼平

山岸河次以下

砥波村水田郡

砥波村人村

新田寺許山

天明六年壬午

今般十村會款之... 天明六年九月

酉年八月

吉田八郎兼平

山岸河次以下

右今般十村會款之...

天明六年九月

天明六年九月

元文四年

所代官刻

諸郡所接持金

法代官分所... 天明六年九月

未二月十八日

所代官刻

法代官中

肝腹中... 天明六年九月

二月

天明六年九月

法代官中

右一通天... 天明六年九月

支那村
五五

天明八年

生

御筆用場

十村水校持傘

得玉和以上

諸君和氣。

松助

清代

為師有為

仲百宛而

御國之寶書

一、所屬初延室三年

所國之角 先年飛州人 中材本所 惠

乃成所入宜其後而所國亦遂成在
少宜之由拂之成也

一七石部

先之

所國之內新國

所國之內新國

其係三年後

中田村七島

右新國於人所國者中野村小之情
中野村小之情
中野村小之情
中野村小之情
中野村小之情
中野村小之情
中野村小之情
中野村小之情
中野村小之情
中野村小之情

一立枯風
石動
市

一市國
市國

一市國
市國

一市國

東南拾九間

一市國

乃成所入宜其後而所國亦遂成在
少宜之由拂之成也
乃成所入宜其後而所國亦遂成在
少宜之由拂之成也
乃成所入宜其後而所國亦遂成在
少宜之由拂之成也
乃成所入宜其後而所國亦遂成在
少宜之由拂之成也
乃成所入宜其後而所國亦遂成在
少宜之由拂之成也
乃成所入宜其後而所國亦遂成在
少宜之由拂之成也

三月廿日

佐者仲乃
中村
今村
大橋
第田

一廿五五五五

金堂如口口

一廿五五五五

百姓

一廿五五五五

以振

一廿五五五五

馬

一廿五五五五

物

一廿五五五五

屋內

一廿五五五五

大洲組

一廿五五五五

百姓

一廿五五五五

以振

一廿五五五五

馬

一廿五五五五

非人

一廿五五五五

穽多

一廿五五五五

後門

一廿五五五五

大西先組

一廿五五五五

大西先組

一廿五五五五

百姓

一廿五五五五

以振

一廿五五五五

馬

一廿五五五五

牛

一廿五五五五

後門

一廿五五五五

非人

一廿五五五五

內宿先組

一廿五五五五

百姓

一廿五五五五

以振

一廿五五五五

馬

一廿五五五五

穽多

一廿五五五五

後門

一廿五五五五

非人

一廿五五五五

大牧先組

一廿五五五五

牛

彼人出通し時分組切代お座中月付度意し
振にお心の中を代出の候に神郡而お親玉
へるより度次方仕書直され候事
取右に紙に極意上へ候事同公未移候
る出向の候に候右に承知中候事
る意し出通し候事以上

戊辰月十百

沼澤村 彦吉郎

寛政三年事

新川郡 仲石中

利に往還道暫先お座中候に隣組代
通立より一統に候事
こハ村代布能川山田代片貝川
経田代代早月川より渡り代中橋を割
り代表形出通し天正寺より代出
事以上

右に通中常上新川より代出
お座中候に候事
和田新町より候事
但利の證とて牧場組より代出
事

諸浪人村者吳神と物乞お座中候に
通通し候事
状官形諸浪人より人出
中候に候事

一山仰見合れお改れ持事
一市に逗留お改中候事
出通し候事
届中事

一六十六部虚妄僧と外諸親進坊主村より入
招候事
くしり市に逗留お改中候事
近き往來筋宿に送り出通し
放り人出通し候事

一狼藉の徒續いて一夜お座中候事
まじり候事
右諸浪人吳神と物乞市街端より候事

有方所書立文然係後有始年之意就其意方
木村之而緒送下林之役主者詮候仕出年市
上石百由罗而うりりの上

寛政三年八月

角帯又彦乃
孫化 市彦乃
多乃 權六
富田

稻垣外記殿

兄

何那何村迄而并之候
誰

右ノ者當月何日當村におりて決外候
由那乃有出生取札の如中取乃并送り空
中乃乃先と後送り極郷迄送り使と如の上

何月

宿村
由役人金中

右何村迄の由一通而役者事と云ふの上
十村誰

中領國中校持人并十村新田中許役候格
ノ常座席以來中領用場中校目席も
免者我々外年二冬目ノ中役は極多引第
此一頁中筆の百折引人主心清言二致出座
事

二月二日

改化可引

諸那何校持人十村
新田許山也 中

兄

二百拾四枚

市山

二百拾四枚

市山

日

拾六枚

大溝組

拾六枚

同組

拾六枚

垣生組

拾六枚

同組

浅たきと云ふ事上御宿方并緩三十枚を
依る方敷御政方役人江家紙通中渡り
外紙を通打せしと云事なき同公并小
成り相渡相度事と云渡り上

二月十二日

御集用場

吉田八郎重彦
山崎河村以左

御終たきと云御通年次并致減相渡たきと
方々方御集用場より御渡り通寄打越之
り集りし事と云事と云相渡相度事と云渡り上

未二月廿二日

御用者
吉田八郎重彦

砥波村小南郡

御集用場
十村中

寛政四年五月刻たきと云事と云入込中
口御渡りし御宿方より事

御宿方より事

一百枚取振り男年拾五と云事と云人御役
部所免と云事と云但しと云事と云指除と云事

一五郎百姓百姓と云御宿方より事と云御宿方
御宿方より事と云御宿方より事と云御宿方

一赤社方より事と云御宿方より事と云御宿方
と云事と云御宿方より事と云御宿方

一五郎百姓百姓と云御宿方より事と云御宿方
と云事と云御宿方より事と云御宿方

一五郎百姓百姓と云御宿方より事と云御宿方
と云事と云御宿方より事と云御宿方

一五郎百姓百姓と云御宿方より事と云御宿方
と云事と云御宿方より事と云御宿方

一五郎百姓百姓と云御宿方より事と云御宿方
と云事と云御宿方より事と云御宿方

一五郎百姓百姓と云御宿方より事と云御宿方
と云事と云御宿方より事と云御宿方

一五郎百姓百姓と云御宿方より事と云御宿方
と云事と云御宿方より事と云御宿方

一五郎百姓百姓と云御宿方より事と云御宿方
と云事と云御宿方より事と云御宿方

仕者言及十村支配者ハ秋米取立事ハ

一村行費用水所賣店村并至他高村ハ秋

米取立事ハ

一市百姓ハ勿論又上百姓元禄二年以前ハ

持ハ面々人分秋米取立事ハ至他ハ市百姓

同然ハ事

一市技指十村山也至他面指除事ハ

一六月廿日と死去仕ル者秋米指除事ハ七月

朔日以後ハ死去仕ル者ハ秋米取立元禄五

年ハ

右新川那村水那秋米取立相与合ハ如

前ハ右ノ通元禄中月砥波那今年ハ右

通元禄中月以上

元禄十二年未上月

市村指除事ハ

市村指除事ハ

市村指除事ハ

市村指除事ハ

砥波那米代出高事ハ前月分病死仕當時用

多時希ハ向米代出高事ハ前月分病死仕當時用

後市村指除事ハ

市村指除事ハ

米代出高事ハ

元禄三年十月

市村指除事ハ

市村指除事ハ

市村指除事ハ

市村指除事ハ

市村指除事ハ

市村指除事ハ

市村指除事ハ

市村指除事ハ

市村指除事ハ

市村指除事ハ

市村指除事ハ

門石の間に六尺の底をいれ大神居座
持多給多ふらるる神位に坐化多仕者并
替木持多ふら持多三應と申す本成木集
中者多仕坐より支持多多百姓年々
深き如き多仕坐より少きと成りけり家
習小仕坐より成限の所と家なる押持坐
其内力付けりふらと仕者も仕座なる
宿三ふらと一極と申す上諸事所用
宿お勤中より申す持多と成り大木成り座
仕座

一拾石持多ふらと百姓合物里方山方在操別
と遠き所坐る著業と出らるる素粉市
黄粉難水勤粉坐子と糖味常申す
立第大根坐子干芋申す合し物と入給
中二三ふらと度も大座飯と給中急目
取礼申すと度元座飯給中急目
著業と出らるる中月黄粉難水
座第大根芋持多と成り大木成り座
者一過と成り座第大根芋持多と成り大木成り座
座山方極難人へ麦稗叔と成り黄粉持
又勤粉と成り著業と成り黄粉持
赤と成り大根芋持多と成り大木成り座
外坊と成り著業と成り黄粉持

一衣服と成り布と成り座第大根芋持多と成り大木成り座
赤と成り大根芋持多と成り大木成り座
と成り大根芋持多と成り大木成り座
右體端と成り座第大根芋持多と成り大木成り座
方と成り著業と成り黄粉持
と成り大根芋持多と成り大木成り座

一里方二神故多仕座より拾石持多ふらと成り大木成り座
紙帳釣中と成り座第大根芋持多と成り大木成り座
布と成り織成仕座中者多仕座布と成り大木成り座
申す者ハ所方申す古年故成と成り大木成り座
出借り多釣中と成り座第大根芋持多と成り大木成り座
申す故と成り大根芋持多と成り大木成り座
申す座第大根芋持多と成り大木成り座

作後散役所三人並者公川綿仕者坊々候無
之申中候中々被給事者有之今般是作
渡之通申遠仕者坊々見座者有坊々候仕
川生而新米市中に取見之申候時々切
拂之候迄云初方江東内仕候者坊々
作付者坊々候々候者親上人以上

西
八月十日

享保十三年之事

戸出村
又太夫

清政紀

御尊以而

右紙面指上中兩山十村
左紙面指上中兩山十村

御郡、新田中没人并山口より宗門所政方向後
山持村人等十村目程、情面記連名仕所郡
有。形而此等格書なる去年四月廿日、村井村
与宗門の事の上作度、今今年宗門内改方
在と通、お改められ、御郡御奉行前右へ入
彦坐合先格に通、情面お調上るもの候儀
渡り初世組下、山口新田中許申出彦等三郎
宗門所政方向情面格書申付候上

嘉德元年四月廿日

名方乃通書方
孫氏長方

市販

御尊

表書と通見
原形田文許山
先格之
通
方方字つ傍
肉書入法部
新前
う捨出
去年ハ表書
と通
中渡
ゆ
先
格
と通
中付
ゆ
上

政化於邦

[illegible]

壬子
四月

二月廿四日

御用著

新系大馬

安適之書

諸邪

四月廿六

戶部村

入大東門

臨波初水與所郡中乃并新國
文許山已下中亮不

四
時
村

孫化

武陽村

沈友秀

田中村

三

宣
二
月

改化等以

右為本師代者以刻盤書之紙面全中
有字者不以上

香氏

五七

中允免所

遠田減唐屋

右ノ通中事アリ各為承知申上

寅

三月十日

明石檢定

砺波郡市ノ所為

出代官中

諸郡お修而為所用是之月ノ出来

小出より在り次第毎季三月六月九月

三月に於て中在り通中修而左ノ通

二日

杉本新所

四日

小杉新所

六日

赤岩新

十日

瑞崎

十日

田王修修村

十日

南新井村

十日

小杉八日市町

十日

聖市村

右ノ通中事アリ各為承知申上

甲寅三月十八日

改化新

出持持人

十村 中

新田寺村

右ノ通中事アリ各為承知申上

尚三月ノ修中修出お延し取生事

觸出ノ通中事アリ各為承知申上

心持事アリ各為承知申上

月宜事お延し各為承知申上

及至修中修出中修出中修出中修出

十修中修出中修出中修出中修出

右ノ通中事アリ各為承知申上

中江上御座

三月十八日

法村源次

諸郡 出信番中候

相渡前より召出番病者難に出者元
是より改修前より書付指出所番書
と相渡前より元番改修前より番書付生
有相渡前より御算用者召元相渡
所番より指出事

一相渡前より相渡前より番書付生と改
修前より指出所番元又相渡前より指出所
所番用者召元相渡前より

相渡前より指出所番元又相渡前より指出所
所番用者召元相渡前より

一相渡前より指出所番元又相渡前より指出所
所番用者召元相渡前より

一相渡前より指出所番元又相渡前より指出所
所番用者召元相渡前より

三月十八日

改修前

諸郡

出信番人

十村

新田

付札御算用場番元

三州川際御算用場十村訂修と御算用
諸先達より改修前より指出所番書付生
出所番より御算用者召元相渡前より
下付所番書付生と上定修前より
相渡前より御算用者召元相渡前より
御算用者召元相渡前より

四月

甲寅

二月廿日

野村忠彦

小谷左衛門

諸郡

御持方子村

新田方件也

中

諸郡如例年為持方之分持者元了也
只一如當年之役金領之額有之也
因中領之金領之持者元了也中領之
ヶ條方件十村口了品持持人定當
度之役金領之右中領方元了中領
曲之役金領之右中領方元了中領
元了也又時勢之右中領方元了中領
元了也又時勢之右中領方元了中領

嘉永二年

改修持方

諸郡御持持人

十村中

新田方件

右中領之役金領之持方元了也
中領之役金領之持方元了也
中領之役金領之持方元了也

一新田方件十村口了品持持人定當
度之役金領之右中領方元了中領
曲之役金領之右中領方元了中領
元了也又時勢之右中領方元了中領

嘉永二年

湯助少左送帳第案

号人

何家

一老人男

誰

一老人女

同姓

右當村者湯助少左江戶錢度最親類無以置於村方女抱仕業中自御助少左上送り少左

年号月日

何那村銀方氏

誰下

湯助少左

湯後所

同姓黃

同姓

太通相送無少左以上

何那何村

十村誰下

右一件は傳後去々寛政七年島村有

自今以後所生は若左は内病は

抽は若左は若左は遠世は神

其事は余が見ふは是より

述へた述へた若左は遠

河碓は若左は若左は人若左

若左は若左は若左は若左は

若左は若左は若左は若左は

中誰が若左は若左は若左は

庚戌

七月

左寛政二年

何那何村

即第明傷諸如中溪至
一定

公事一在即第明傷諸如中溪至
即第明傷諸如中溪至
者民日多其所以自今之安撫報
在者因收之內更甚其甚

市心

正月七日 改他事

實政十事記

此乃諸公之遺言也